

すべての消費者に安全なシーフードを:グローバル・ アクアカルチャー・アライアンス(GAA)が GFSI 承 認からどのように利益を得るか

2019年10月8日火曜日



FAO によると、水産養殖-魚、貝類、その他の水産物の養殖は世界で最も急速に成長している食料生産部門です。毎年新しい水産養殖施設がオープンするにつれて、グローバル・アクアカルチャー・アライアンス(GAA)のような専門の CPO が介入して、安全で持続可能な生産方法を使用する事業者を支えています。GFSI は段階的に進化しています。ベンチマーキング要求事項の範囲は現在、養殖魚介類および天然魚介類にも拡大しています。

本日、GFSI エキスパートシリーズで、GAA の規格コーディネーターであるダニエル・リー氏と話をします。GAA の水産加工工場の基準は、2010 年に初めて GFSI の承認を取得し、ベンチマーキング要求事項の次のエディション、最近では 11 月に、7.1 版に対してのベンチマーキングが完了しました。ダニエルは、GFSI の承認に対して、生産者と CPO が世界的な重要性を獲得する可能性があることを強く主張しています。GFSI Youtube でのインタビューをご覧いただくか、以下のトランスクリプトをお読みください。



自己紹介をお願いします。

喜んで。私はダニエル・リーです。私はグローバル・アクアカルチャー・アライアンスで働いています。私は規格コーディネーターなので、プログラムの整合性と規格の調整を行っています。

グローバルアクアカルチャーアライアンスについて詳しく教 えてください。

私たちは業界団体であると同時にNGOです。私たちは魚介類、特に養殖魚介類に焦点を当てています。私たちの基準を

適用し満たす事業者はたくさんあり、それらは世界中にアジア、ラテンアメリカ、北米に散らばっています。ですから、私たちは非常に強力なフットプリントを持っていますが、ニッチな分野、つまりシーフードに特化しています。

なぜ GFSI 承認を受けることにしたのですか?

食品の安全性に関するさまざまな角度からの保証を提供しています。シーフードでは、環境面、社会面、トレーサビリティ、食品安全性をカバーしています。食品安全の分野で保証を提供しようとする場合、 GFSI ベンチマーキングを通じて認識を模索する以外に選択肢はありません。GFSI は、コンセンサスされた食品の安全性のプログラムを提供しています。

持続可能で、安全で、健康的な魚介類に関するメッセージを広めるために、GFSIのようなパートナーが必要であり、そのベンチマークを取得する必要がありました。「一度認証されれば、どこでも受け入れられる」というモットーは、私たちと私たちの支持者にとって非常に魅力的です。彼らは、簡単なソリューション、包括的なソリューション、世界的に受け入れられているソリューション、および業界をリードするソリューションを探しています。GFSIは、さまざまな利害関係者をまとめるのに非常に優れているため、不可欠であり、その分野で重要な役割を果たしています。GFSIファミリーの一員となり、GFSI内でGAAとそのシーフード加工[工場基準]が認められたことを非常に嬉しく思います。

GFSI 承認のメリットは何ですか?

それはすべての支持者に伝わる認識です。たとえば、大企業、大規模小売業者は、多くのカテゴリにわたって食品安全に対する標準化されたアプローチを求めています。そのため、彼らは GFSI ベンチマークのプログラムを受け入れることを指定します。このように、私たちのプログラムは、GFSI と同盟を結び、GFSI のベンチマークを取得することで、GFSI の承認者、小売業者、外食産業、製造業者、それらすべてのさまざまな利害関係者など、GFSI メンバー全体でその認識を自動的に得ることができます。ですから、これが私たちの考え方であり、GFSI のアプローチであり、私たちのアプローチにもぴったりです。私たちはグローバルになりたい、グローバルに認知されたい、そして高い基準を満たしたいです。



その他の CPO についてもっと知りたい方は、過去のビデオをご覧ください。どこでも消費者のために安全な食品を提供するための共通の問題とその協働の努力の詳細についてご覧いただけます。CanadaGAP、FSSC 22000、IFS と Global G.A.P のビデオをご覧いただけます。

また、ツイッターで#GFSIexperts を $\underline{\mathit{Dx}}$ セ $\underline{\mathit{LinkedIn}}$ で繋がってください。 $\underline{\mathit{GFSI}}$ News を購 読してエピソードを見逃さないようにしましょう!